

平成22年度 【 学園研究費助成金 】 研究成果報告書

学部名 教育学部

フリガナ イソベ キンジ
氏名 磯部 錦司

研究期間 平成22年度

研究課題名 生命主義的自然観を基軸とした造形芸術活動についての研究
—チェコ・日本でのフィールドワークから—

研究組織

| | 氏名 | 学部 | 職位 |
|-------|------|------|----|
| 研究代表者 | 磯部錦司 | 教育学部 | 教授 |
| 研究分担者 | | | |
| 研究分担者 | | | |

1. 本研究開始の背景や目的等

本研究は、「生命主義的自然観をとおした芸術活動」をテーマとした実践事例研究である。子どもの造形活動のプロセスと作品、ワークショップにおける実践事例から生命のイメージの表れと変容を読み取り、そこに表れる生命に対する感じ方、見方、考え方の広がり、また変容を検証し、「環境との関係性において表れる生命観」について芸術経験と表現内容の関わりから造形活動の意味について検討し、その活動の方向を実践事例として示していく。

資料はこれまでに収集したものと、新たに日本、チェコでの実践を試み、そのプロセスと内容から検討する。また本研究は、「生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育」の一連の研究の中でのものであり、本研究においては、その内容を具体的な実践事例とし、その展開と方向を示していく。

2. 研究方法等

下記のワークショップの実践事例をとおしてその展開を示し、作品と資料の内容、活動のプロセスから、実践を意味づけ、展開と方向位置付けていく。

①ワークショップの実践

(10月 郡上八幡) (7月 大学)、8月「子ども芸術村」、(2月 附属小学校、白鳥小学校、チェコ・プラハ市ミュージアム、プラハ市公立小中学校)

②実践報告 (2月「プラハ市ミュージアム」での作品展とワークショップ)

③実践事例のプロセスから表現者の行為と表現内容を分析

3. 研究成果の概要

①実践をとおして

<日本>

- ・「子ども芸術村 アートキャンプ」(8月 飛騨金山山中)
3日間の森での活動をとおし、環境との直接的経験から生まれる自然や人への見方や感じ方を広げる活動を試みた。
- ・「いのちのイメージ」(10月 長良川上流 郡上市立牛道小学校)
それまでの自然学習や社会科学習と関連付け、長良川の自然の中でいのちのイメージをテーマに色と形でその感じ方を表現した。
- ・「アートプロジェクト “Dialogue of Life”」
(2月 椋山女学園大学附属小学校、名古屋市立白鳥小学校)
いのちのイメージをテーマに、チェコの子どもたちの色と形を感じ、表現し、協同制作を試みた。

<プラハ>

- ・「アートプロジェクト “Dialogue of Life”」
(2月 プラハ市立シュタイナー学校、クラノド中高等学校、プラハ市ミュージアム)
日本から作品を運び、その作品から日本の子どもたちの色と形を感じ、いのちのイメージを表現し、協同作品を制作した。
- ・「ドキュメント展 “Dialogue of Life”」(プラハ市ミュージアム)
ドキュメント展として、2004年からこれまでの実践報告を鑑賞活動として位置付け、映像記録、写真、作品を展示した。

②実践内容の分析と意味づけ

- ・活動後の記述と作品の内容から、子どもの見方や感じ方の変容を示し、「生命主義的自然観を基軸とした芸術による教育」の実践事例としてその方向と展開を示した。

4. キーワード

| | | | |
|------|-----|------|------|
| ①アート | ②芸術 | ③自然観 | ④生命観 |
| ⑤こども | ⑥ | ⑦ | ⑧ |

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

本事例のもととなる理論として、その活動のプロセスと内容を、1980年以降の生命哲学と現代美術に見られる思潮をもとに位置づけ、社会的創造活動として教育を捉え、デューイの想像的、芸術的経験主義をもとに、その活動を意味づけた。その理論的展開を、下記において発表した。

- ・磯部錦司「生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育(1)ーコアとしての<生命>ー」『椋山女学園大学研究論文集』2011年3月
- ・磯部錦司「生命主義的自然観を基軸とした造形芸術による教育(3)ー自然との関係においてー」『椋山女学園大学教育学部研究紀要』Vol4,2011年3月
- ・磯部錦司「生命主義的自然観を基軸とした芸術による教育」美術科教育学会、2011年3月